

第 170 回 東南アジアの自然と農業研究会

2015 年 4 月 17 日 (金) 16:00-18:00

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科

総合研究 2 号館 4 階大会議室 (AA447)

参加費・事前登録不要。奮ってご参加ください。

会后には懇親会を予定しております。

問い合わせ先:

大出: 京都大学大学院アジアアフリカ地域研究研究科 oide[at]asafas.kyoto-u.ac.jp

柳澤: 京都大学地域研究統合情報センター masa[at]cias.kyoto-u.ac.jp



こちら!

# インドネシア ブキ・バリサン・セラタン国立公園 における生物多様性保全プロジェクト

## 川江 心一 (WWF ジャパン\*)



\* WWF は世界 100 か国以上で活動を行なっている環境保全団体です。

© 1986 Panda Symbol WWF ® "WWF" is a WWF Registered Trademark

インドネシア スマトラ島南部のブキ・バリサン・セラタン国立公園には 36 万 ha の熱帯林が広がり、スマトラゾウ、スマトラトラ、スマトラサイといった絶滅危惧動物が生息しています。しかし、同国立公園では、違法なコーヒー農園の開拓が進行すると共に、野生動物が農園を荒らす害獣として住民により駆除されるという問題が起きています。こうしたことから、WWF では、国立公園の生物多様性保全を目的として、絶滅危惧動物の生息調査を行なうと共に、地域住民との合意に基づく違法農園からの退去とその跡地での植林、さらに野生動物と地域住民との衝突防止のためのパトロール、代替産業による住民の生計向上支援といった活動を包括的に実施しています。



その結果、野生動物と住民双方の被害ゼロを達成すると同時に、国立公園当局も絶滅危惧動物の保護強化に向けた体制作りを始めました。しかし、当局による公園管理はまだ十分には履行されておらず、一部の保全活動については当局への責任分担が進まないという問題も残されています。

Kamera Trap



Program Bukit Barisan Selatan 2013-2015



Camera Name 73°F22°C

07-31-2014 09: 10: 29